

令和8年度 緑区 運営方針

I 基本目標

令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。
市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら「次世代につなぐ みんなにやさしい みどりの魅力あふれるまち」を目標とする各種の取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

基本目標 「次世代につなぐ みんなにやさしい みどりの魅力あふれるまち」

緑区は、豊かな自然の中で地域の皆さまの温かい「つながり」が息づく、みんなにやさしい魅力あふれるまちです。
これは、区民の皆さまの継続した活動により大切に育まれてきたものであり、この魅力あふれるまちを次世代に引き継いでいく必要があります。

横浜グリーンエクスポの開幕に向けて

2027年3月19日に横浜グリーンエクスポが開幕します。緑区には、会場へのアクセス拠点の1つである十日市場駅が所在します。
期待が高まる取組で緑区から盛り上げるとともに、開催を契機とした区の魅力向上に取り組めます。



「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」に向けて

緑区では、中期計画を踏まえ、区民の皆さまの声に寄り添いながら、安心・安全なまちづくりや、全てのこども・子育て世代への切れ目のない支援、共に支え合うつながりのあるまちづくりを進めます。また、地域や関係団体、企業、教育機関等と連携しながら、魅力あふれるまちづくりやサステナブルなグリーン社会の実現に向けた取組を進めます。

令和8年度 緑区 運営方針

II 目標達成に向けた施策

1 安心・安全なまち

- ・ 自助・共助による防災・減災、防火・防犯等、区民の皆さまの主体的な取組の支援など、災害に強いまちづくりを進めます。
- ・ 身近な交通安全や感染症対策など、暮らしの安全対策に取り組みます。

2 いきいき暮らせるまち

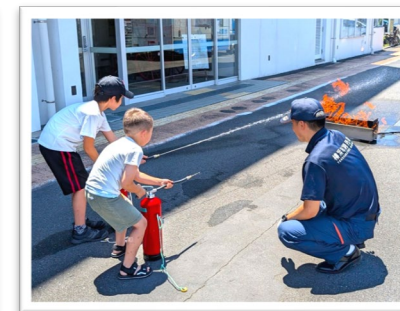
- ・ 誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合うつながりのあるまちづくりを進めます。
- ・ 健康づくりや健康寿命の延伸に向けた取組を進めます。
- ・ AI活用をはじめとしたデジタル化による市民サービスの向上と業務効率化を進めるとともに、身近な区役所として適正・迅速・丁寧に取り組み、信頼される窓口サービスを目指します。

3 魅力あふれるまち

- ・ 自治会をはじめ、スポーツ・芸術・文化などの様々な市民活動の支援や、商店街の振興に取り組みます。
- ・ 横浜グリーンエキスポを契機に、グリーン社会の実現に向けて、花や緑、環境を大切にする意識の向上や行動変容につながる取組を、区民の皆さまとともに、より一層進めます。
- ・ 地域の現状を踏まえたまちづくりを進めるとともに、魅力ある公園づくりや花植え、清掃活動など、地域の良好な環境づくりを進めます。



交通安全教室



こども防災イベント



プレパパ・プレママ教室



緑区シルバーフェスティバル



こどものまちづくりイベント
「Mini Mini Midori」
～『GREEN×EXPO 2027』に向けて～



花と緑のサポーターによる
花壇の植え付け活動

令和8年度 緑区 運営方針

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

1 適正・迅速・丁寧に取り組みます

信頼される区役所を目指し「市民目線」「スピード感」「全体最適」を重視した行政運営を行うとともに、AI活用をはじめとしたDXの推進により、区民・事業者の皆さまの利便性・満足度向上を図ります。

2 地域との協働・共創を進めます

自治会や関係団体、企業、教育機関、NPOなど、多様な主体が持つ知恵や力を活かして協働・共創に取り組み、新たな価値創造につなげます。

また、データの活用により、多様化する地域のニーズに的確に応えるとともに、行政サービスの最適化につなげます。

3 チーム力・職員力を高めます

限られた経営資源の中で最大限の効果を発揮できるよう、効率的・効果的な事務運営を進めます。

また、高いコンプライアンス意識のもと、地域・組織運営の課題を自ら発見し、情報や課題を共有しながら、チーム力で解決できる人材の育成・職場づくりを進めます。

【参考】主な事業・取組

1 安心・安全なまち

1 地域防災・減災の強化

防災ネットワークや関係機関と連携した訓練・啓発等を通じて、区民の皆さまとともに、災害に強いまちづくりを進めます。

2 安心・安全な環境づくり

自治会や、緑警察署等の関係機関と連携し、地域での自主的な防犯活動の支援や交通安全対策を進めます。
また、道路・下水道・河川・公園などの適切な維持管理に努めます。

3 感染症対策と暮らしの衛生の推進

健康危機に備え、感染症対策など、安心・安全な暮らしのための取組を進めます。

【参考】主な事業・取組

2 いきいき暮らせるまち

1 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、第5期緑区地域福祉保健計画を推進します。

2 あんしん子育て支援の充実

全てのこどもや、妊娠期から子育て期の方への切れ目のない支援を行います。
併せて、地域の子育て支援活動や区内保育施設とネットワークを構築し、地域全体で子育て家庭を支える環境づくりや保育の質の向上を図ります。
また、小学生の放課後の居場所づくりを進めます。

3 地域における青少年の育成

次世代を担う青少年の育成に向け、関係団体と連携した取組を進めます。
また、こどもたちが地域の特色や魅力を知るきっかけづくりを行うことで、地域への愛着や社会性を育みます。

4 高齢者・障害者施策の推進

住み慣れた地域で医療、介護等が切れ目なく提供できるよう、地域包括ケアシステムを構築します。
障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させます。
また、認知症や障害に対する理解と共生を促進し、誰もが自分らしく生きることができるまちを目指します。

5 生涯にわたる健康づくりの推進

あらゆる世代がいきいきと健やかな生活を送れるよう、関係団体等と協働して健康づくりに取り組み、健康課題の改善と健康寿命の延伸を目指します。



緑区キャラクター「ミドリリン」

6 暮らしのなかのセーフティネット

ひとり暮らし高齢者等への地域の見守り活動や、生活にお困りの方の自立に向けた取組を支援します。
また、相談窓口や各種制度を周知します。

7 多文化共生の推進

多様な言語・文化・価値観をお互いに認め合い、地域での相互理解を深める取組を進めます。
また、生活ルールや防災情報など、暮らしに必要な情報の普及啓発に取り組みます。

8 信頼される窓口サービス

個人情報保護を徹底するとともに、区民の皆さま一人ひとりに寄り添いながら、わかりやすい案内を心がけるなど、基本的な行政サービスの向上に努めます。
また、区民生活に関わりの深い戸籍・住民登録・税金・保険年金等の各種制度を適切に運用します。

3 魅力あふれるまち

1 地域資源や商店街など、みどりの魅力を活かした地域活性化

自然、農、歴史などの地域資源や、まちのにぎわいの核となる商店街の魅力など、緑区の魅力を広く発信するとともに、緑区に住んでみたい、住み続けたいと思えるような効果的な広報を行います。

2 地域力の推進と市民活動の支援

地域の皆さまの自主性を大切にしながら、地域の課題解決やつながりづくりを支援します。

3 スポーツを通じた地域づくり

区民の皆さまが健康で豊かな暮らしができる環境づくりのため、スポーツイベントを開催するとともに、関連団体を支援します。

4 芸術文化活動の振興

多様な表現活動に携わる地域芸術文化団体を支援するとともに、区民の皆さまが身近な場で文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。

5 読書活動の推進

緑区内の教育機関や区民利用施設・団体と連携してこどもから大人まで多くの人が本を身近に感じられる機会を創出し、読書を通じて豊かな心を育みます。

6 環境にやさしいライフスタイルの推進

脱炭素化や3R等の啓発を通じて、循環型社会に向けた行動変容を促します。

また、地域の多様な担い手と協働してまちの美化に取り組み、良好な環境を次世代につないでいきます。

7 地域課題への対応と横浜グリーンエキスポを契機としたまちづくり

地域住民の皆さま主体のまちづくりを支援します。

また、グリーン社会の実現に向けたまちづくりを進めます。

★その他の事業・取組については、緑区WEB「令和8年度 緑区予算」をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kusei/uneihoshin-yosan/yosan/r8midorikuyosan.html>

緑区キャラクター
「ミドリん」

